ＪＲ東海労ニュース

№1022
2008年3月13日
ＪＲ東海労働組合

内部通報閑古鳥！

弁を販売するJR東海子パッセンジャーズ（東京）

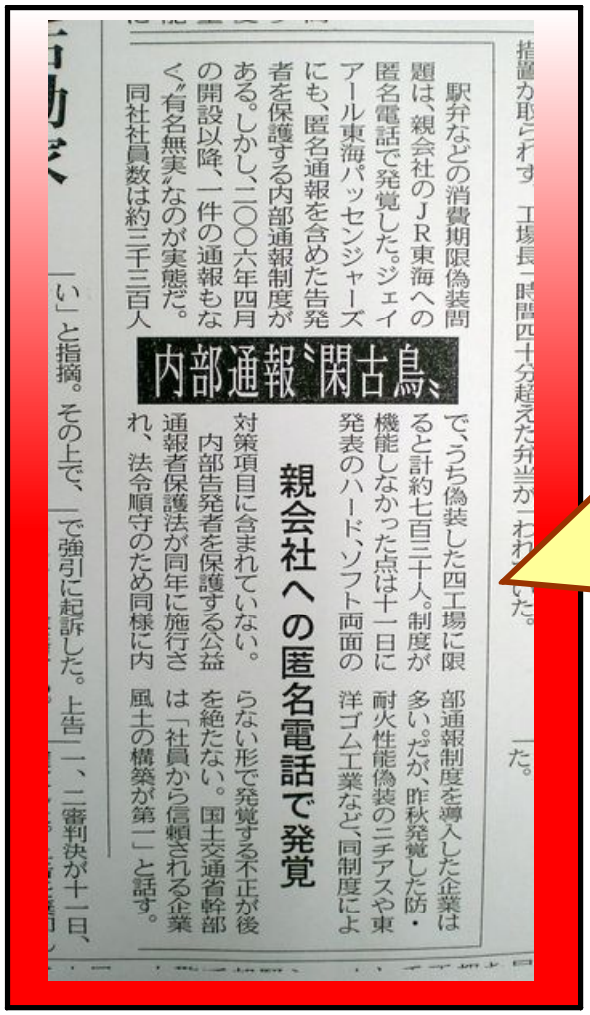
会見で頭を下げるジェイアール東海パッセンジャーズの建守猛社長（右から２人目）ら＝11日午後、東京・丸の内で

駅弁偽装 1500万食

JR東海子会社調査 05年4月から3年間

東海道新幹線などで駅弁を販売するJR東海子会社のジェイアール東海パッセンジャーズ（東京）の消費期限偽装問題で、消費期限の社内基準を短縮した二〇〇五年四月以降、品を上り短時間に製造する必要に迫られた上、この結果、工場では

新聞はすべて 3/12
東京新聞朝刊より


内部通報閑古鳥

親会社への匿名電話で発覚

駅弁などの消費期限偽装問題は、親会社のＪＲ東海への匿名電話で発覚した。ジェイアール東海パッセンジャーズにも、匿名通報を含めた告発者を保護する内部通報制度がある。しかし、二〇〇六年四月の開設以降、一件の通報もなく〝有名無実〟なのが実態だ。

同社社員数は約三千三百人で、うち偽装した四工場に限ると計約七百三十人。制度が機能しなかった点は十一日に発表のハード、ソフト両面の対策項目に含まれていない。

内部告発者を保護する公益通報者保護法が同年に施行され、法令順守のため同様に内部通報制度を導入した企業は多い。だが、昨秋発覚した防・耐火性能偽装のニチアスや東洋ゴム工業など、同制度によらない形で発覚する不正が後を絶たない。国土交通省幹部は「社員から信頼される企業風土の構築が第一」と話す。

措置が取られず、工場長一時間四十分超えた弁当が一われた。

「い」と指摘。その上で、一で強引に起訴した。上告一一、二審判決が十一日、

ところで、本体であるJR東海のセクハラ相談窓口において、絶対秘密！であるはずの通報に対して、ある職場で「揉み消し工作」が行われたという情報が飛んでいる。

結局外面のための内部通報制度、セクハラ対策でしかないということか！？